

知りたい!  
置戸高校②

# 置戸高校と

## ■将来の夢、自分のために頑張れる。



かしま  
鹿島 ほんのかさん

2年生  
バレーボール部所属

【出身は】 様似郡様似町

【入学のきっかけは】

置戸高校出身で介護士の姉の薦めと作業療法士を目指すうえで、将来、福祉の勉強が役に立つと思ったからです。

【学校生活は】 授業では、利用者さんに衣服を楽に着替えていただく方法など、自分達ができないことをどうやったらできるのかをみん

なで考えて、練習してできるようになることが楽しいです。

部活動と勉強の両立は、大変だから辞めたいときもあるけど、卒業するときにこれまでを振り返って、「自分は頑張った」と思うだろうから、部活動は辞めません。それに勉強だけだとつぶれてしまいます。勉強で辛いこともあるけれど、自分のためってわかっているから、頑張れます。

【寮生活は】 親元から離れて暮らして、全部自分でやらなくてはいけないので、その大変さがわかりました。寮生活は、家でも常に友達がいる状態。みんなでわいわいしているので、結構楽しいです。友達が家族みたいな存在です。辛いことがあったら、みんなに打ち明けて話し、そのとき泣いてスッキリして、「次、頑張ろう！」って感じです。

## ■地元を離れ、自分の成長を実感できる。



まつだ つばさ  
松田 翼さん

2年生

【出身は】 江別市

【入学のきっかけは】

進路に悩んでいた時、介護士の母から福祉の道を薦められたことがきっかけ。置戸高校のパンフレットを見ると消防や医療関係の仕事に就いた卒業生もいて、自分も資格を取れば将来、有利になると考えたからです。

【学校と寮生活】 1年生の後半から、勉強や

レポートなどが大変になってきました。「3年間、なあなあで過ごして卒業できるわけがない」と気持ちが引き締まりました。担任の高橋先生は、毎週、寮の部屋を訪ねて、様子を見に来てくれます。また、よく声もかけてくれます。寮生活は楽しく、友達とは隠し事をせず、何でも話をしていました。友達と親の支えがなければ、折れていたと思います。

自分は人と話すのが苦手でしたが、寮生活や実習を通して、話さなければならない状況に慣れて、今は、苦手ではなくなりました。昨年、入寮時に当時の3年生が、自分や家族に対して笑顔で話しかけながら引越し作業を手伝ってくれましたが、今年の春は自分も同じように話しかけながら手伝うことができました。自分の1年間の成長を感じた出来事です。

置戸高校と  
おけと。

町では福祉を担う置高生を応援します。返還義務のない給付型奨学金「福祉の夢サポート奨学金」、バス通学生に定期代金の一部補助、入寮生に月額12,000円の補助をしています。また、福祉教科の準教科書無償配布などを行い、教育環境の充実を図っています。